

仙北市 PR サポーター募集中!

1 仙北市 PR サポーターとは?

仙北市内に所在地のある企業・団体などの事業者や個人事業主の皆さんが、市外に自社商品の売り込みや企業 PR 活動などを行う際に、仙北市の観光 PR 活動もあわせて行なっていたりすることで、自社の価値と仙北市の価値の双方を高め合い、広く仙北市の認知度アップ、観光誘客や移住定住などの促進につながることを狙って実施するものです。

2 対象者は?

仙北市内に所在地のある企業・団体などの事業者、個人事業主が対象となります。
 ※ただし、次のいずれかに該当する場合は、対象としません。
 ▼法令などに反するものまたはその恐れがある場合。
 ▼暴力団などの反社会的勢力または反社会的勢力と関係有するものまたはその恐れがある場合。
 ▼公序良俗に反したり、青少年保護や健全育成の観点から適切でないものまたはその恐れがある場合。
 ▼政治性、宗教性のあるものまたはその恐れがある場合。
 ▼右記に掲げるもののほか、市長の判断により対象とふさわしくないと判断された場合。

3 サポーターになるには?

市ホームページ https://www.city-semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=2406 から申請書をダウンロード。

申請書を記入し、メール (kankoo@city.semboku.akita.jp) または FAX (54-4102) で観光課に提出。

申請が認められると、名刺台紙デザインデータ (PDF またはラベル屋さん) を交付します。

申請者自身で住所氏名など (上記名刺例の赤色部分) を変更して作成してください。他のデザインの改変はできません。

申請者は使用開始前に、改変後の名刺デザインを PDF データで観光課に報告してください。



4 活動内容について

企業・団体などの事業者や個人事業主の営業活動やイベントなどへの参加にあたり、名刺裏面への印刷、もしくは別に名刺を作るなどして、市外に自社商品の売り込みや企業 PR 活動などを行う際に、仙北市の観光 PR 活動もあわせて行ってください。

期間は定めませんが、2 の項目に該当するなど、申請時と大幅に違う使用をしていることが確認された場合は、その時点でサポーターを解任することもあります。

仙北市 PR サポーターの認定式が行われました

第 1 号に劇団わらび座

7月29日、仙北市 PR サポーター認定第 1 号を記念して市役所田沢湖庁舎で認定式が行われました。
 第 1 号には劇団わらび座が認定され、山川龍巴代表取締役社長と同劇団の俳優・鈴木裕樹さんが出席、門脇市長から PR 名刺がデザインされたパネルが贈呈されました。
 劇団わらび座は、全国各地で年間約 400 回の公演を行っていて、今後は営業の従業員や役者など約 70 人が PR 用の名刺を作成、全国に仙北市を売り込むこととしています。



門脇市長（右）と市国際交流推進室の小泉俊室長（左）から山川龍巴代表取締役社長（右から2番目）と俳優の鈴木裕樹さん（右から3番目）に PR 名刺をデザインしたパネルが贈られました。

問合せ

仙北市観光課 ☎ 43-3352

市長の

まちづくり

No.155

日記

『妖怪探しに出かけよう』

仙北市長 門脇 光浩

都内からの出張帰り、新幹線の情報誌「トランヴェール」の表紙に「妖怪探偵団、東日本へ」の見出しを見つけて…。忘れていた記憶が甦って来ました。
 昔は、夏休みの恒例行事に肝だめしがありました。夜に子ども会で集まり、2〜3人のグループでお寺の境内や墓地を歩きます。そんな時、私はよく電灯の光の中に動く小さな黒い影を見ました。恐怖感よりも、何だか一緒に遊んでいるような、黒い影もコロコロ喜んでいっている感じがしました。

結婚して子どもが生まれ、その子どもたちが小さい頃は、よく釣りに出かけました。その日は大沼で夕方まで頑張った、それでもバス一匹釣れなくて、諦めて帰り支度を始めた時です。水のはねる音がしたので、沼中のヨシ原に目をやると、小さな人影が見えました。人影はこちらを伺っているような様子で数秒動かず、次の瞬間には水に消えました。
 カップは、昔からこの辺りにいたように、佐竹北家がカップに関する報告書を絵図と一緒に秋田藩に提出しています。さらに角館(旧中川村)には、カップか

ら製法を教わった甚助の妙薬伝説もあります(県立博物館発行の妖怪博覧会)。
 人の役に立つ妖怪?としては、座敷わらしは遊んでくれた人間を立身出世させてくれると信じられていますし、市内数か所に伝わるワラ人形(鹿島さま・お仁王さまなど)は、悪霊を地域に入れない守り神です。
 場所が妖力を持っていた伝説もありま

す。角館のはずれに「おぼっ力」と言う怪力を授かる場所があったと武藤鉄城(民俗学者)が書き残しています。力自慢になりたい男はそこに行き、子どもを抱いた若い女を待ちます。女が現れ「私が髪を整える間、この子を代わりに抱いていってください」と。言う通りに抱いた子はだんだん大きく重くなり、それでも髪を整え終わるまで子どもを抱き続けることができたなら怪力を授かり、できなかつたら命を奪われる、そんなお話です。
 市内にはドキドキの妖怪伝説がたくさんです。クニマス買いのキツネ女、西木の化石…。夏休み、子どもと一緒に妖怪探しに出かけてみてはいかがでしょうか。

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション

(仙北市観光課内) ☎ 43-3352

<http://kakunodate-fc.jp/>

かくのだてフィルムコミッション(以下FC)の平成31年度の総会が6月24日に開催されました。はじめに、ロケ支援を行った映画「君から目が離せない」Eyes On You」のプロモーション映像などを上映しました。ロケ支援が実際にどのような行われたかを映像でも知ってもらいたいと考え、上映を行っています。

今年の総会では、4月に秋田県と市町村、FCで構成される「あきたロケ支援ネットワーク」が立ち上がったことを報告しました。また、映像製作会社の運営が上手くいかず、ロケ支援に協力した企業などに金銭の未払いが発生した事例を紹介し、かくのだてFCは、トラブルのない運営を心がけようとの意識啓発としました。

6月28日には、「あきたロケ支援

ネットワーク」の研修会が開催されました。特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション事務局長の関根留理子さんが講師を務め、ロケ支援に関わる業務について、丁寧に教えていただきました。ロケ誘致や支援について初めて学ぶ参加者が多く、熱心に聞き入っていました。
 秋田県内では、六つのFCが活動を行っており、連携して支援を行う機会がこれまでもありましたが、さらに市町村のロケ支援受け入れ窓口が強化されることで、秋田県全体でロケ誘致に向けてアピールすることが可能となると思います。

(会長 坂本洋)



支援作品のプロモーション映像の上映。